朝比奈泰彦*：大興安嶺の地衣類に追加す

Yasuhiko ASAHINA*: An addition to the SATO's Lichenes Khingan.enses (Bot. Mag. Tokyo, 65: 172)

最近發行になつた植物學雜誌 Nos. 769-770 で佐藤正巳君は 1942 年に吉良教授が採集された北部大興安嶺の地衣 28 種を檢定された。筆者はその2年前即 1940 年に滿鐵沿線の藥用植物調査に參加した際興安驛と博哈圖驛との中間から西南 40-50 キロの尾根をつたつて地衣を採集した。此地方は吉良教授の採集地よりも遙に南に偏し高度も2000米以下で殆ど頂上迄 *Betula* や *Larix* の疎林が續き其合間に腰を沒する程度の草原をなし地上生の地衣を目標にした筆者は寧ろ失望したのであるが兎に角僅少の露地や岩石の破れ目を尋ねて若干の獲物があつた。若干重復するものもあるが分布上重要であるから一括して記錄して置く。

Cladonia rangiferina (L.) Web. 基準型

Cladonia silvatica (L.) Harm. f. *sphagnoides* Flk. 全部此品種で PD 反應は比較的微弱，往々 PD− と誤認し易い。

Cladonia alpestris Rabenh. PD−− で歐州產の基準型と一致する。

Cladonia Floerkeana (Fr.) Sommerf.

var. *intermedia* Hepp

var. *chloroides* (Flk.) Wain. f. *carcata* (Ach.) Nyl.

他の地衣の群落から選び出した貧弱な標本であるが明に上記二變種を認める。

Cladonia bacillaris (Del.) Nyl

多くは無子器で子柄は單一，尖銳で *Cl. coniocraea f. ceratodes* と混生し中々區別がつかない。PD− とバルバチン酸を檢出して確認した。

Cladonia digitata Schaer. 主として f. *glabrata* Del. である。

Cladonia pleurota (Flk.) Schaer. 有子器，無子器の各種の完全な標本。

Cladonia amaurocraea (Flk.) Schaer.

f. *craspedia* (Ach.) Schaer.

f. *tenuisecta* Wain.

f. *fruticulescens* Norrl.

非常に多產し上記3品種を區別することができる。

Cladonia furcata (Huds.) Schrad.

var. *racemosa* (Hoffm.) Flk. この變種は寧ろ少數。

var. *pinnata* (Flk.) Wain f. *regalis* Flk.

* 資源科學研究所. Research Institute for Natural Resources, Tokyo.

これは非常に發達し枝條も太く且つ往々縱裂する。

Cladonia scabriuscula (Del.) Leight. f. *cancellata* Müll. Arg. 標本多數，大形で發育良好。

Cladonia cenotea (Ach.) Schaer. 有子器のものを含む。

Cladonia subcariosa Nyl.

此標本は有子柄，群落の周邊に *Cl. pityrea* (PD+赤色) らしき夾雜あり。

Cladonia gracilis (L.) willd. var. *dilatata* (Hoffm.) wain. 此種一色であつた。

Cladonia cornuta (L.) Schaer. 標本は貧弱であるが此種のものと判定する。

Cladonia pyxidata (L.) Fr.

var. *neglecta* (Flk.) Mass. f. *lorypha* Ach.

var. *pocillum* (Ach,) Flot.

var. *pachyphyllina* (Wallr.)

アルカリ地帶で見逃すことのできない標兆植物で筒體も多く，發育も十分である。

Cladonia chlorophaea Spreng. f. *centralis* Asahina 盃の中央から更に小盃を發芽するもの。

Cladonia conista (Ach.) Robbins

これは *Cl. conistea* Asahina と間違へてはならぬ。コツプ狀の盃は相當大きく中形の *Pyxidata* 位ある長針狀無色結晶がでるので區別される

Cladonia fimbriata (L.) Fr. 標本は貧弱である

Cladonia cornuto-rvdiata Coem.

f. *radiata* (Schreb.)

f. *furcellata* Hoffm.

日本や朝鮮からはまだ確認されて居ない。

Cladonia coniocraea Flk. f. *ceratodes* Flk.

種々の發育の程度のものがあり細小のものは *Cl. bacillaris* の無子器のものと混雜して居る。

Cladonia nemoxyna (ach.) Coem.

Cladonia botrytes (Hag.) Willd. 發達のよい標本である。

Stereocaulon tomentosum Fr. 標本多數發達よろし。

Nephroma Asahinae Zahlbr.

これと同定するは可なり躊躇したがやはり本種と認定するより外はない。臺灣阿里山を type locality とし日本全土に分布をもつ本種が大興安嶺に現われたとすればこれは東亜の一標兆地衣と云ばねばならない。

Peltigera canina (L.) Willd.　　規準型

Peltigera spuria (Ach.) DC.

近頃は *P. canina* の一型とする人もあるがここでは區別した。

Peltigera rufescens Nyl. これも *P. canina* の一型とされたが明に區別できる形態をもつ。

Peltgera horizontalis (L.) Hoffm. 子器の形でハツキリ區別できる，裏面の脈は比較的不明で暗褐色の毛褥が殆ど邊緣迄及び居る。

Psora Asahinae Zahlbr. 露出岩石の割目で一小群落を發見した。

Leptogium saturninum (Dicks.) Nyl. 無子器で確證できないが葉體の形狀，裂芽のつき工合できめた。日本からはまた記錄されない。

Collema pustuligerum Hue 日本產のもので Hue が命名したもの，この同定が間違なければこれも東亜の特產品と云へる。

Lecanora muralis Rabh.

Cetraria crispa Nyl. var. *japonica* Asahina

髓が PD+赤色で歐州產基準品とは含有成分に差がある。

Parmelia manshurica Asahina type locality

Parmelia obscurata (Ach.) Bitter 日本からはまば記錄されない。

Evernia mesomorpha Nyl. 粉芽のある基準品。

Alectoria jubata (L.) Ach. 普通品，無子器。

Usnea longissima Ach. var. *tenuis* 本種については別に記述する。

Usnea comosa (Ach.) Röhl. 本種についても別に記述する。

Physcia melops (Duf.) Nyl. 有子器であり可なり完全の標本であるが，現在筆者の材料からは一應この種に充てるより外に方法はない。

Xanthoria fallax Du Rietz.

Corrections for Larger fungi of the provinces of Omi and Yamashiro (3) (**27**: 189–194).

				誤 for	正 read
p.	189	line	5	from below 採集されたことか	採集されたことが
p.	190	〃	3	III	III,
p.	〃	〃	6	from below Mcologia	Mycologia
p.	191	〃	19	4-spard	4-spored
p.	〃	〃	12	from below ジヤマイカ島のあとにカツコを加える	
p.	〃	〃	7	〃 N. Ohga	M. Ohga
p.	192	〃	5	〃 編すべきか	編入すべきか
p.	194	〃	15	〃 their habitats	their natural habitats